

いじめゼロプロジェクト

朗読者 フラッシュ嶋田

5 福岡市立の全小中学校が、年間を通して取り組む「いじめゼロプロジェクト」。このプロジェクトでは、子どもたち自身が主体となり、それぞれの学校や学級で取り組みを進め、最終的には、福岡市からいじめをなくすことを目指しています。

6 このプロジェクトの一つに、「いじめゼロサミット」があります。
7 2018年8月、市内の215の小中学校から、代表の児童生徒と先生、保護者が集まり、児童生徒の代表である14名の推進員による進行で、活気ある話し合いが行われました。

8 今年は中学校区ごとに、小中学校の取り組みを互いに紹介し合う形で発表が行われ、いじめ撲滅のための取り組みが紹介されました。たとえば、三宅中学校では、身近ないじめをテーマにビデオドラマを制作。互いにいじめられる役、いじめる役、いじめに同調する役、傍観する役を演じることで、それぞれの立場の人の気持ちを感知されたと言います。

9 また、挨拶やハイタッチ運動を行なっている学校では「いつも決まった人しかハイタッチしない」などの問題点を子どもたちが指摘し、小中学校の垣根を超えて、今後、一緒にどのようなことに取り組んだら良いのか、熱心に話し合われました。

2018年のテーマは、「つながる」。友達とつながり、先生とつながり、さらにほかの学校ともつながる。そのつながりを、もっと強くしようとの思いからです。

驚いたことに、この日、サミットに出席した代表者の8割以上が、これまでに「いじめたこと・いじめられたこと・いじめを見たことがある」と答えていました。いじめはあなたの学校の、あなたのクラスの問題かも知れません。小さなSOSにも気づいてください。

いじめをなくそうとする強い気持ちをもっている友達と話したり、他の学校のことを知ること、友だちのつながり、小中学校のつながりを持つたりすることは、いじめをなくす大きな力を生み出します。